

後期基本計画の策定に向けた

# 市民意識調査

## 結果報告書

ダイジェスト版



平成 23 年 3 月

新潟県五泉市

現在、市では市民の皆さんとの協働によるまちづくりを推進するため、「第1次五泉市総合計画」の施策体系をもとに、平成23年度に後期基本計画を策定します。この計画にみなさんの意見を反映させることを目的に、市民意識調査を実施しました。

市内の20歳以上の人を対象に、これまで市が取り組んできた施策に対して満足しているか『満足度』、市がどのような施策に更に力を注いでいくべきか『重要度』、また、日常生活におけるみなさんの意識を把握し、『成果指標』を設定するために調査を行いました。

この調査結果をもとに、限られた財源の中で、効果的・効率的な資源配分を行い、行政サービスの更なる向上を目指し、まちづくりを進めていきます。

## 調査の概要

詳しくは...

報告書 P3

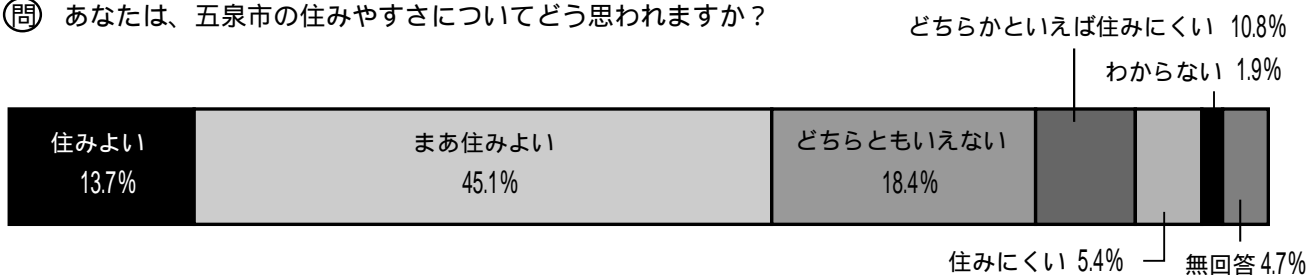
- 【対象】五泉市住民基本台帳（平成22年10月31日現在）から20歳以上の市民を無作為抽出した3,000人
- 【方法】郵送による配布、回収
- 【期間】平成22年11月25日～12月20日
- 【回収数】1,212通（回収率40.4%）

## 五泉市の住みやすさ

詳しくは...

報告書 P8

問 あなたは、五泉市の住みやすさについてどう思われますか？



## 施策の重要度

詳しくは...

報告書 P18

問 五泉市のまちづくりにとって何が重要だと思いますか？（38項目の中から5つ選択）

### 重要度の高い項目

- ・安心して医療をうけることができるまち 45.3%
- ・税金が効率的に使われているまち 41.3%
- ・高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち 31.8%
- ・安心して子育てできるまち 29.5%
- ・子どもがゆとりある楽しい学校生活をおくることのできるまち 24.8%

### 重要度の低い項目

- ・公害を防止するまち 0.8%
- ・国外の人たちとの交流がさかんなまち 1.0%
- ・林業を育成するまち 1.2%
- ・目的地に安心していくことができるまち 1.7%
- ・消防力が強いまち 1.9%

## 施策の満足度

詳しくは...

報告書 P19

問 五泉市の取り組みについて、あなたはどの程度満足していますか？（38項目の設問ごとに、満足・まあ満足・どちらともいえない・やや不満・不満・わからないのいずれかを1つ選択）

### 満足度の高い項目

- ・健康づくりの支援 53.1%
- ・市政への市民意見の反映 51.1%
- ・消防・火災予防機能の充実 43.6%
- ・スポーツを楽しむ環境の整備 42.7%
- ・公園の整備や緑化の推進 40.6%

（「満足」「まあ満足」の割合）

### 満足度の低い項目

- ・労働環境の整備 51.0%
- ・除雪体制の整備 48.0%
- ・医療整備の充実 37.8%
- ・農業の振興 36.5%
- ・工業の振興 34.3%

（「不満」「やや不満」の割合）

## 重要度・満足度からみた施策の分析

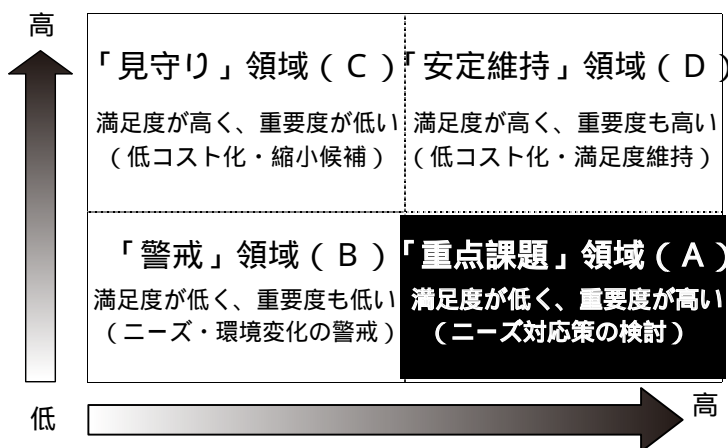
下図のように、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、それぞれの平均値を交点としたグラフに、各アンケート項目の結果を示すと、分布した領域から市民ニーズと重点化すべき施策の傾向を読み取ることができます。

重要度が平均より高く、満足度が平均より低い領域（図の黒い部分）に位置した施策、つまり、市民が五泉市のまちづくりにとって重要だと思っているが、満足していない下記の9つの施策については、「重点課題」としてニーズ対応への検討が必要となります。

### 【重点課題】（重点施策）

- 「高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち」
- 「安心して医療をうけることができるまち」
- 「積雪にすばやく対応できるまち」
- 「商業に活気のあるまち」
- 「工業に活気のあるまち」
- 「魅力ある労働環境を提供できるまち」
- 「農業を育成するまち」
- 「公共交通機関が利用しやすいまち」
- 「税金が効率的に使われているまち」

（図）重要度・満足度調査



## まちづくりの目標を数値で表現

今回の調査では、日常生活において「市民のみなさんがどう感じているのか？」などといった項目も調査しました。なぜなら、協働のまちづくりを進めるためには、整備率といった「行政サービスの実施量」を目標値とするのではなく、みなさんの「受け止め方」を数値で把握することが重要となってくるからです。

このような『分かりやすい数値による目標（成果指標）』を設定することで、まちづくりの理念や目標を共有することができます。そして、これらの目標がどのくらい達成されているかを定期的に測定して公表することで、行政の透明性を高めながら、協働によるまちづくりの実現を目指すことができます。

### 日常生活におけるみなさんの感じ方について「そう思う」「まあそう思う」の割合 上位3項目

問 あなたの住む地域（小学校区）のことや、あなた自身の感じ方について、どう思われますか？  
（17項目の設問ごとに、そう思う・まあそう思う・どちらともいえない・あまりそう思わない・そう思わない・わからないのいずれかを1つ選択）

- ・安心・安全な水が供給されていると感じていますか 81.4%
- ・子どもを幼稚園や学校に安心して送り出すことができると感じていますか 56.3%
- ・公園が安全で利用しやすいと感じていますか 41.6%

### 日常生活における活動状況について「実施している」の割合 上位3項目

問 10項目の設問ごとに、その活動を「している」「していない」から選択してください。

- ・災害の際の緊急避難場所がどこか知っていますか 72.3%
- ・ごみの減量化や再生利用に取り組んでいますか 70.4%
- ・「広報ごせん」を毎回読んでいますか。 68.2%